

D.A.Consortium

holdings

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社（証券コード：6534）

2018年3月期第1四半期 決算説明会

2017年8月3日

▼ D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社 コーポレートサイト

<https://www.dac-holdings.co.jp/>

▼ IRニュースメール配信登録はこちら

<https://www.dac-holdings.co.jp/irmail>

- **2018年3月期第1四半期 決算概要**
- **広告事業の動向**
- **今期方針／1Qの取り組み**
- **トピックス**

<会社名略称>

DACHD : D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

DAC : デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

アイレップ : 株式会社アイレップ

※ 当社の設立は2016年10月ですが、2017年3月期は2016年4月～2017年3月を決算期とし、2016年9月までの実績はDAC連結実績（アイレップ連結を含む）で集計しております。

決算概要

2018年3月期第1四半期決算のポイント

- **ホールディングス体制が本格的に始動**
DAC・アイレップ間で大規模な人材交流を実施し、機能配置の再編が完了
- **売上高は457億27百万円、営業利益は14億39百万円とそれぞれ2ケタの増収増益を達成**
(売上前年比 **18.6%増**、営業利益前年比 **1.8倍**)
- **インターネット関連事業は、DAC・ユナイテッドを中心に好調で、売上は前年比 20.1%増、売上総利益は前年比 26.0%増**
- **5月開示の業績予想に対し、順調に進捗**

連結決算ハイライト

- 各項目でそれぞれ**2ケタ成長を達成**し、1Qとして**過去最高額を更新**
- 前年にアイレップにおいて特別損失を計上したため、四半期純利益は**8.8倍**

(百万円)

	2018年3月期 1Q	
	四半期 (2017/4~2017/6)	
		前年同期比
売上高	45,727	118.6%
売上総利益	6,039	115.6%
営業利益	1,439	179.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	862	887.8%
EBITDA	1,738	167.8%
OM率 ※	23.8%	+ 8.5pt

※ オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

通期業績予想の進捗率

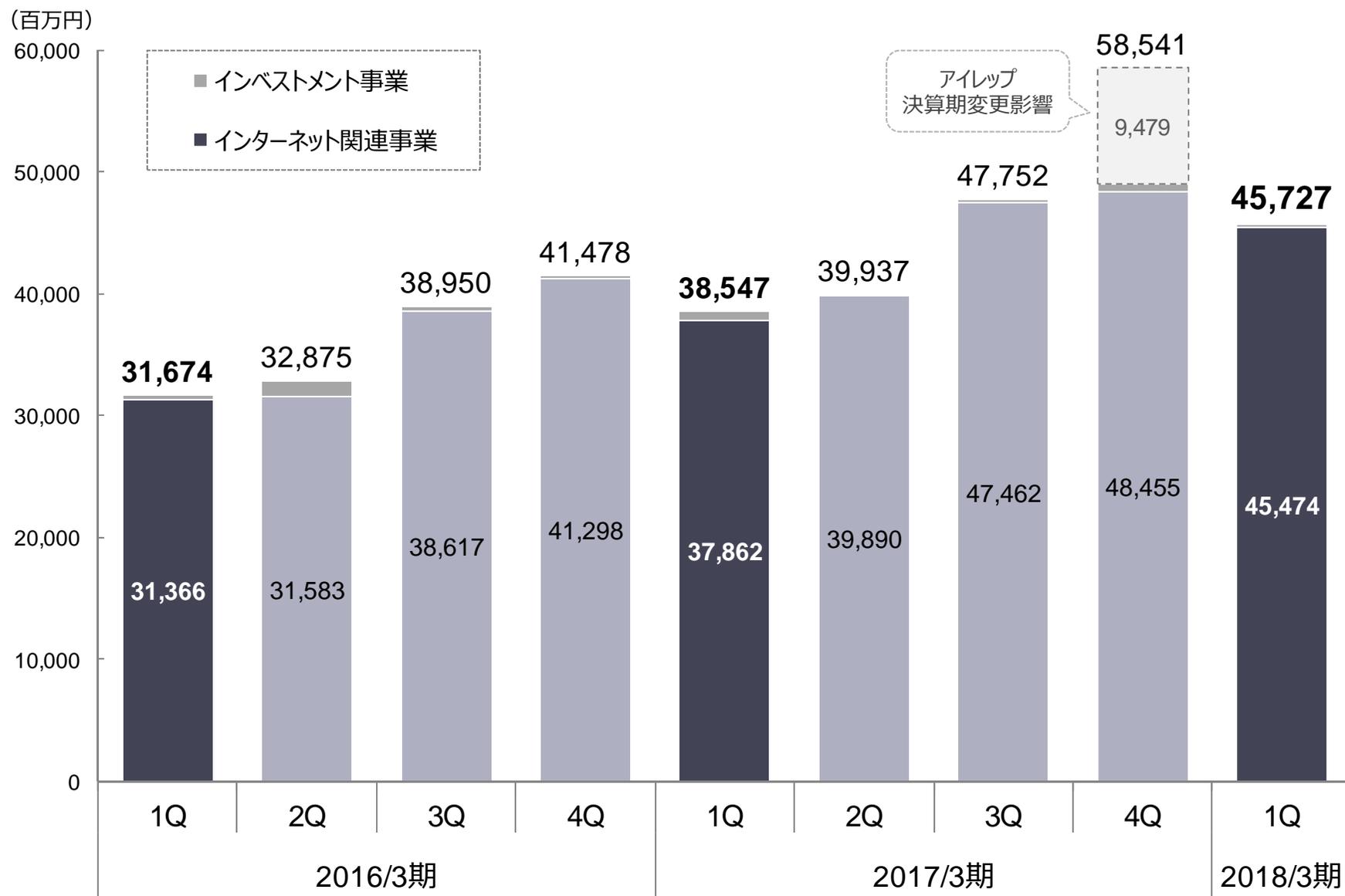
- 5月開示の通期業績予想に対し、進捗率は2割前後で順調に推移

(百万円)

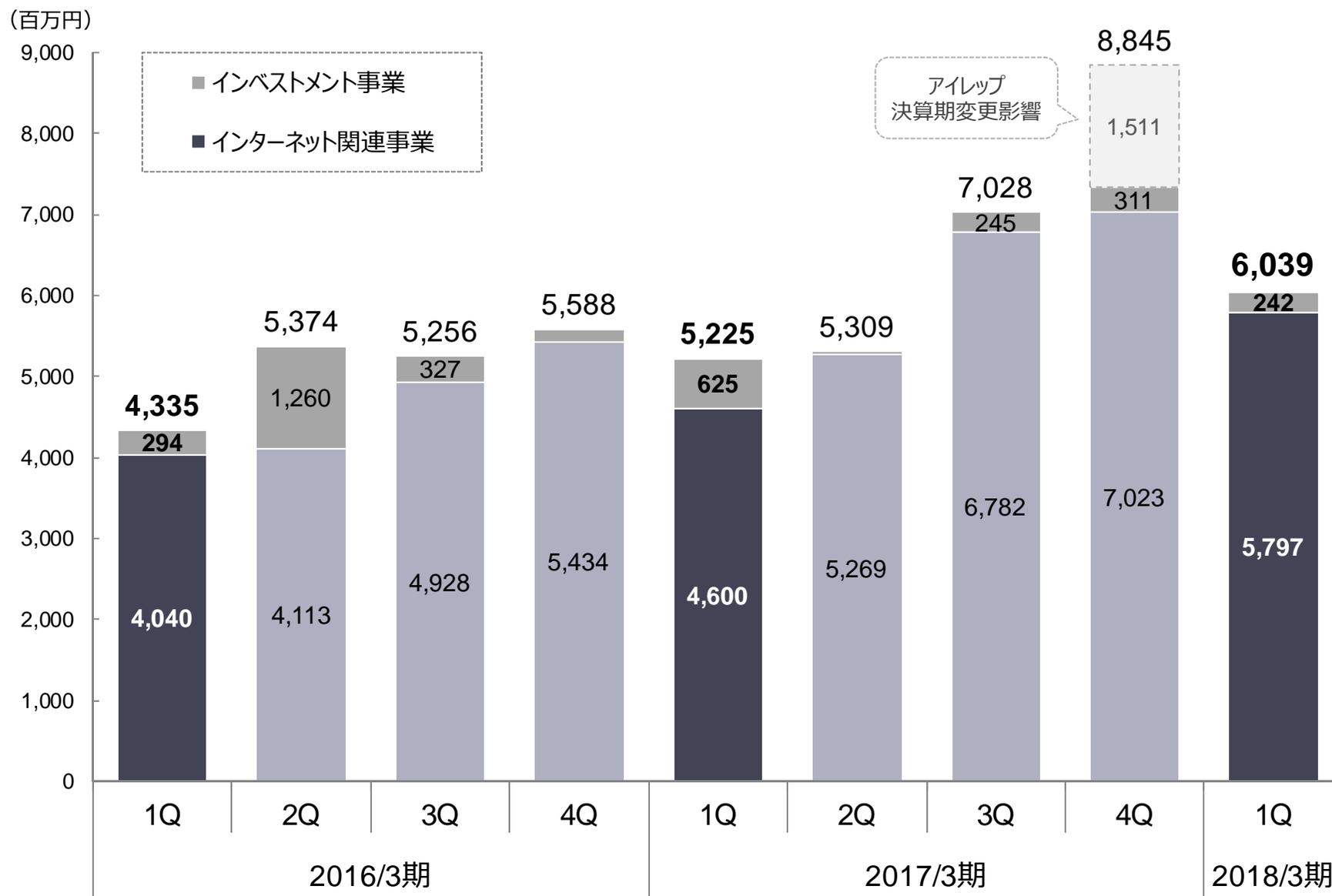
	2018年3月期 (2017/4~2018/3)		
	通期業績予想 (2017/5/11公表)	1Q実績 (2017/4~2017/6)	進捗率
売上高	205,000	45,727	22.3%
営業利益	7,200	1,439	20.0%
経常利益	7,200	1,371	19.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,800	862	22.7%
1株当たり 当期純利益※	65.08円	—	—

※ 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の発行済株式総数をもとに算定しております。

売上高の推移



売上総利益の推移



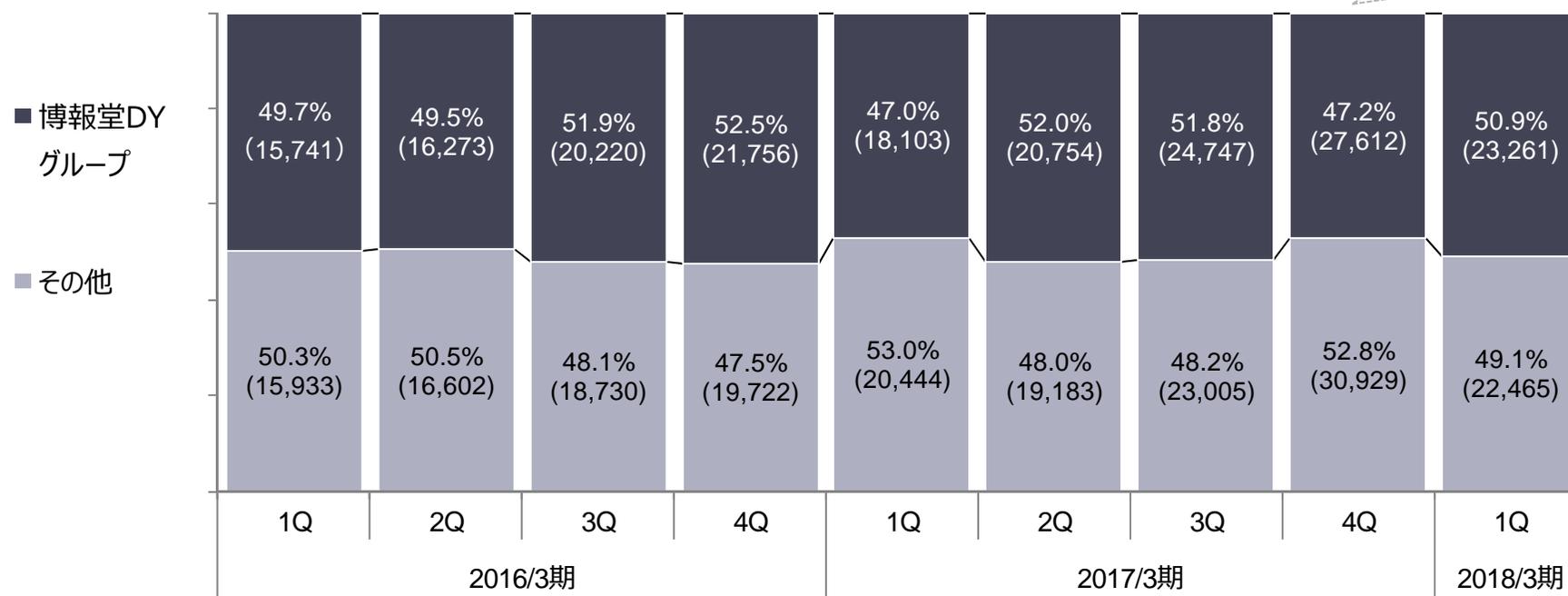
博報堂D Yグループ向け売上高

(百万円)

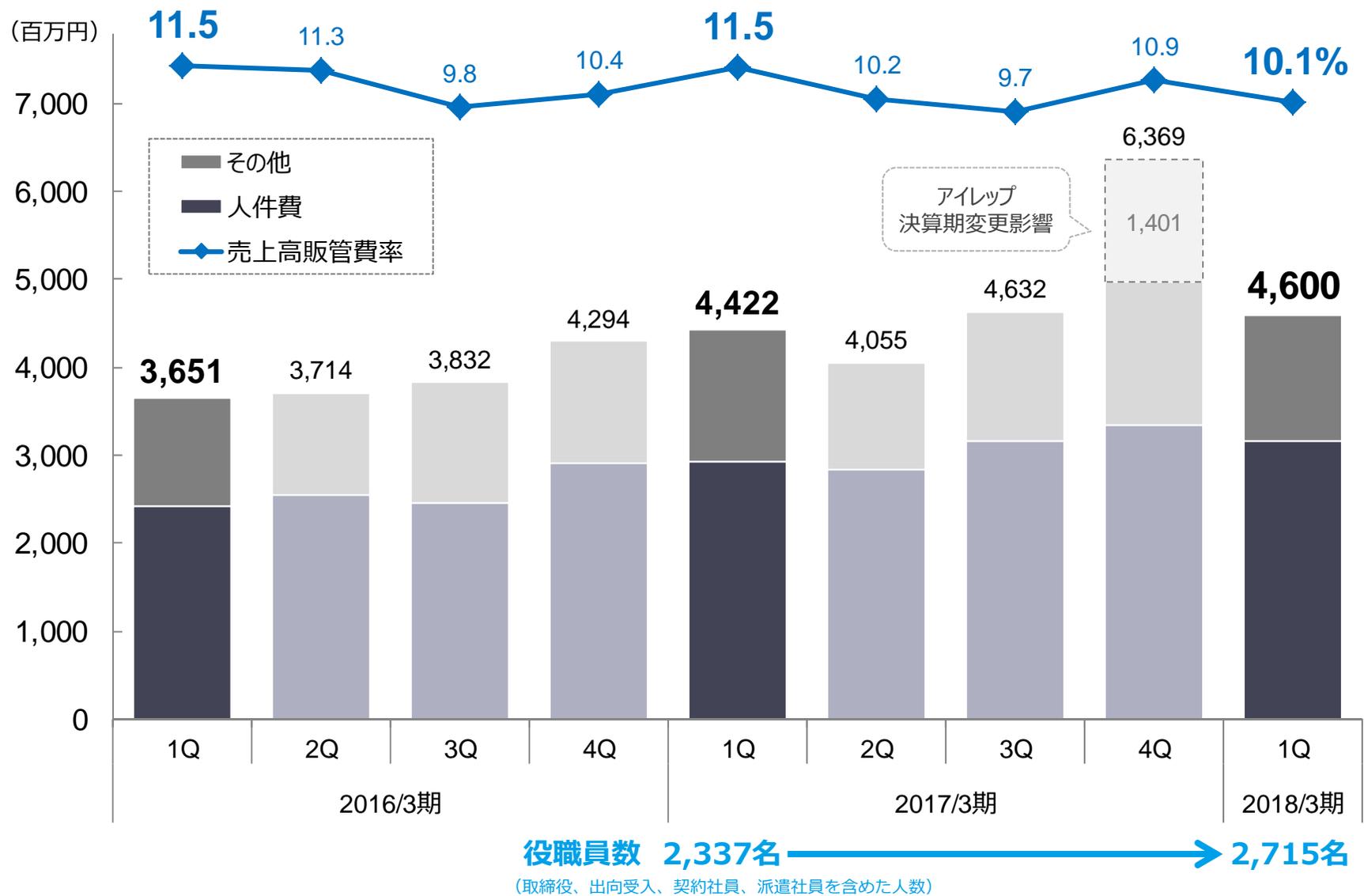
	2017年3月期 1Q (2016/4~2016/6)		2018年3月期 1Q (2017/4~2017/6)		
	売上	百分比	売上	百分比	前年同期比
博報堂D Yグループ	18,103	47.0%	23,261	50.9%	128.5%
その他	20,444	53.0%	22,465	49.1%	109.9%
合計	38,547	100.0%	45,727	100.0%	118.6%

<四半期推移>

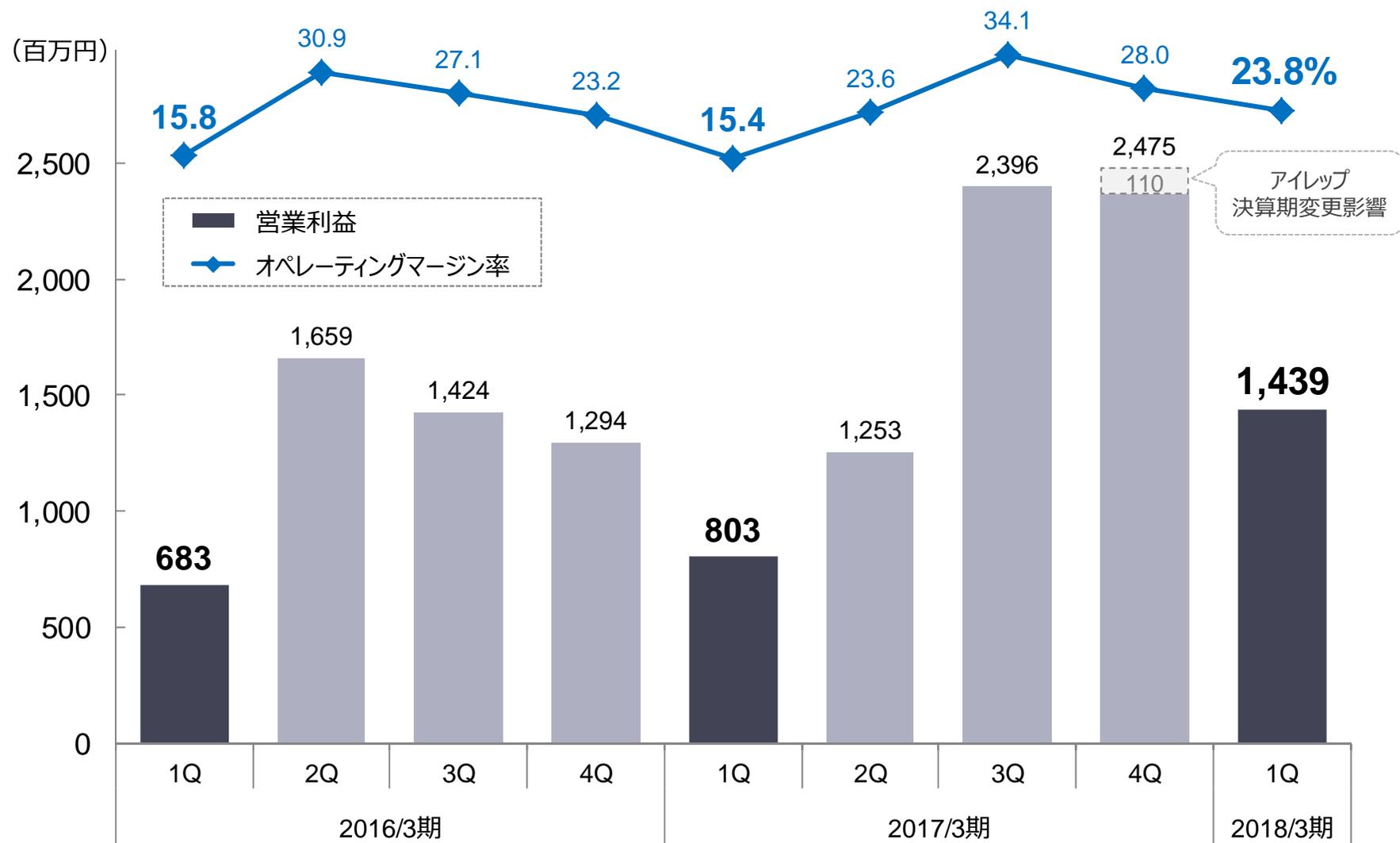
アイレップ決算期変更影響あり



販管費の推移

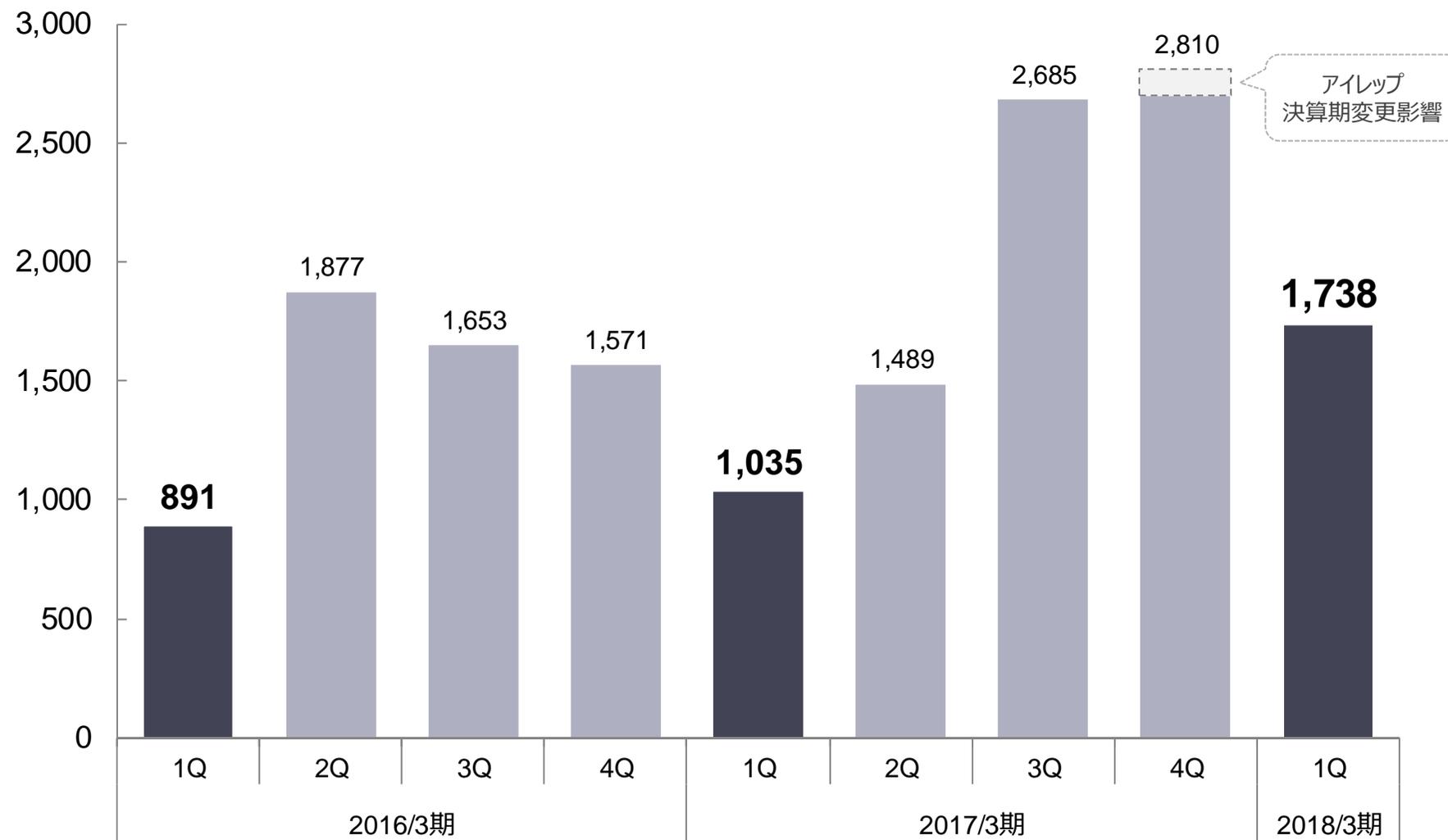


営業利益の推移



EBITDAの推移

(百万円)



※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

貸借対照表

(百万円)

	2017年3月期末 (2017/3末)		2018年3月期1Q末 (2017/6末)			
	金額	構成比	金額	構成比	前年期末比	主な増加/減少要因
流動資産	46,504	83.4%	40,673	81.6%	87.5%	売掛金の減少
固定資産	9,263	16.6%	9,187	18.4%	99.2%	
資産合計	55,768	100.0%	49,861	100.0%	89.4%	
流動負債	28,609	51.3%	23,190	46.5%	81.1%	買掛金の減少
固定負債	1,625	2.9%	1,547	3.1%	95.2%	長期借入金の減少
負債合計	30,234	54.2%	24,738	49.6%	81.8%	
株主資本	16,229	29.1%	16,232	32.6%	100.0%	
非支配株主持分	7,492	13.4%	7,275	14.6%	97.1%	
その他	1,812	3.2%	1,614	3.2%	89.1%	
純資産合計	25,533	45.8%	25,122	50.4%	98.4%	
負債・純資産合計	55,768	100.0%	49,861	100.0%	89.4%	

主なグループ会社の動向

			2018年3月期1Q	
			売上高	営業利益
DAC グループ	 D.A.Consortium	DAC		
	 UNITED	ユナイテッド		
	 HAKUHODO i-studio	博報堂アイ・スタジオ		
	 PLATFORM ONE	プラットフォーム・ワン		
	 TORCHLIGHT	トーチライト		
	 D.A.C Beijing	北京DAC		
	 D.A.C Asia	DAC ASIA		
アイレップ グループ	 irep	アイレップ		
	 LOCALIO	ロカリオ		
	 DIGITAL MARKETING Indonesia	PT.DIGITAL MARKETING INDONESIA		
	 MOORE [®] Enriching community value	MOORE ONLINE DEVELOPMENT SOLUTIONS CORPORATION		

※ 矢印は前年同月実績との比較です。

広告事業の動向

D.A.コンソーシアムホールディングスの事業領域

グループ戦略統括

D.A.Consortium **holdings**

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

東証第二部上場

- 子会社等の経営管理
- テクノロジー & データ戦略
- R&D
- グローバル戦略

インターネット関連事業

パートナービジネス

<DACグループ>



- | | |
|--|---|
| <p>■ メディアサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアレップ事業 ・広告プラットフォーム事業 ・オペレーション事業 | <p>■ ソリューションサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作事業 ・スマホコンテンツ事業 ・テクノロジー事業 |
|--|---|

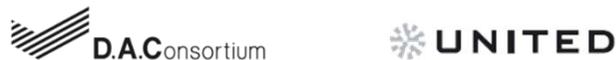
クライアントビジネス

<アイレップグループ>



- ・ 広告代理事業
- ・ ソリューション事業
- ・ ツール事業
- ・ デジタルメディア事業 他

インベストメント事業



事業領域別の状況

(百万円)

	2018年3月期 1Q (2017/4~2017/6)				
	売上	売上総利益	粗利率	前年同期比	
				売上	売上総利益
インターネット関連事業	45,474	5,797	12.7%	120.1%	126.0%
パートナービジネス	34,709	4,452	12.8%	127.8%	155.8%
メディアサービス	31,653	3,014	9.5%	128.5%	137.1%
ソリューションサービス	3,056	1,437	47.0%	121.3%	217.9%
クライアントビジネス ※	10,764	1,345	12.5%	100.5%	90.0%
インベストメント事業	252	242	95.8%	36.9%	38.8%
合計	45,727	6,039	13.2%	118.6%	115.6%

※ クライアントビジネスの前年同期比は、前年度のアイレップ決算期変更の影響により、2016年1-3月との比較をしております。

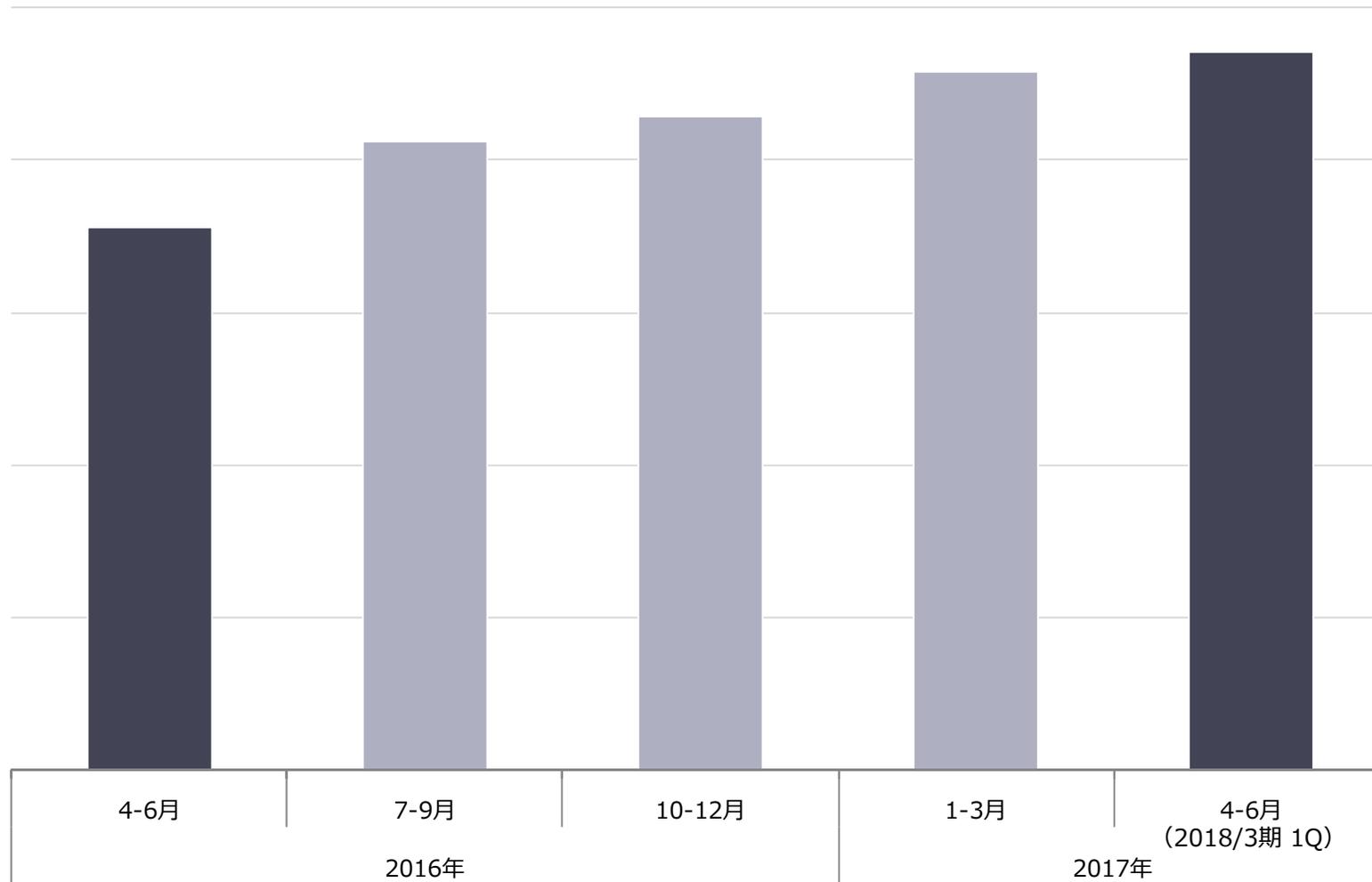
※ 2017年3月期の売上総利益実績において、経営統合によるビジネス間の調整額を遡及して変更しております。

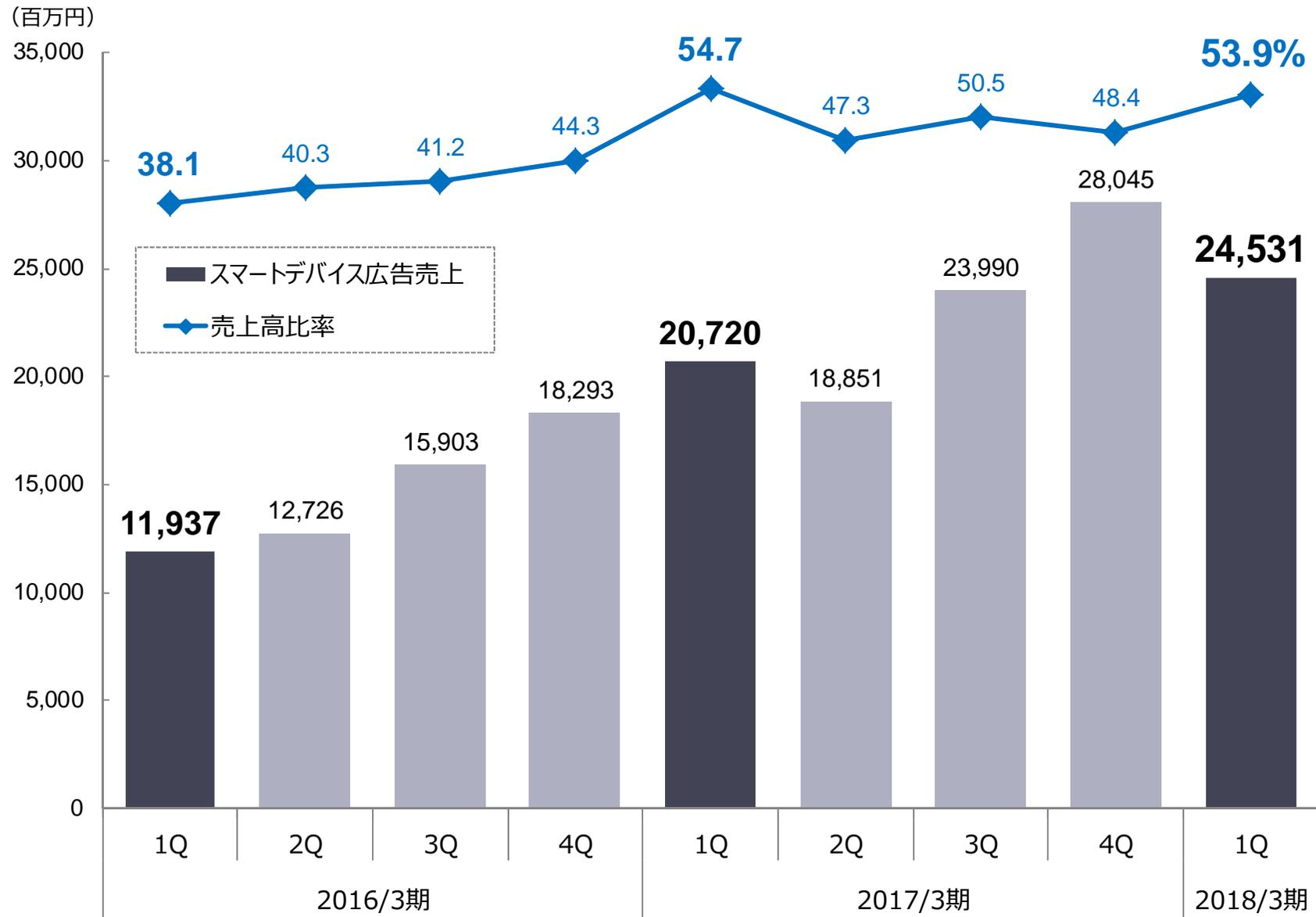
(参考) 各事業領域の内容

インターネット関連事業	インターネット広告に関する事業
パートナービジネス	パートナー（広告会社・媒体社）向けサービス
メディアサービス	メディアレップ事業、広告プラットフォーム事業、オペレーション事業 など
ソリューションサービス	制作事業、スマホコンテンツ事業、アドテクノロジー事業
クライアントビジネス	クライアント（広告主）向け広告代理事業 など
インベストメント事業	DAC、ユナイテッドの投資事業

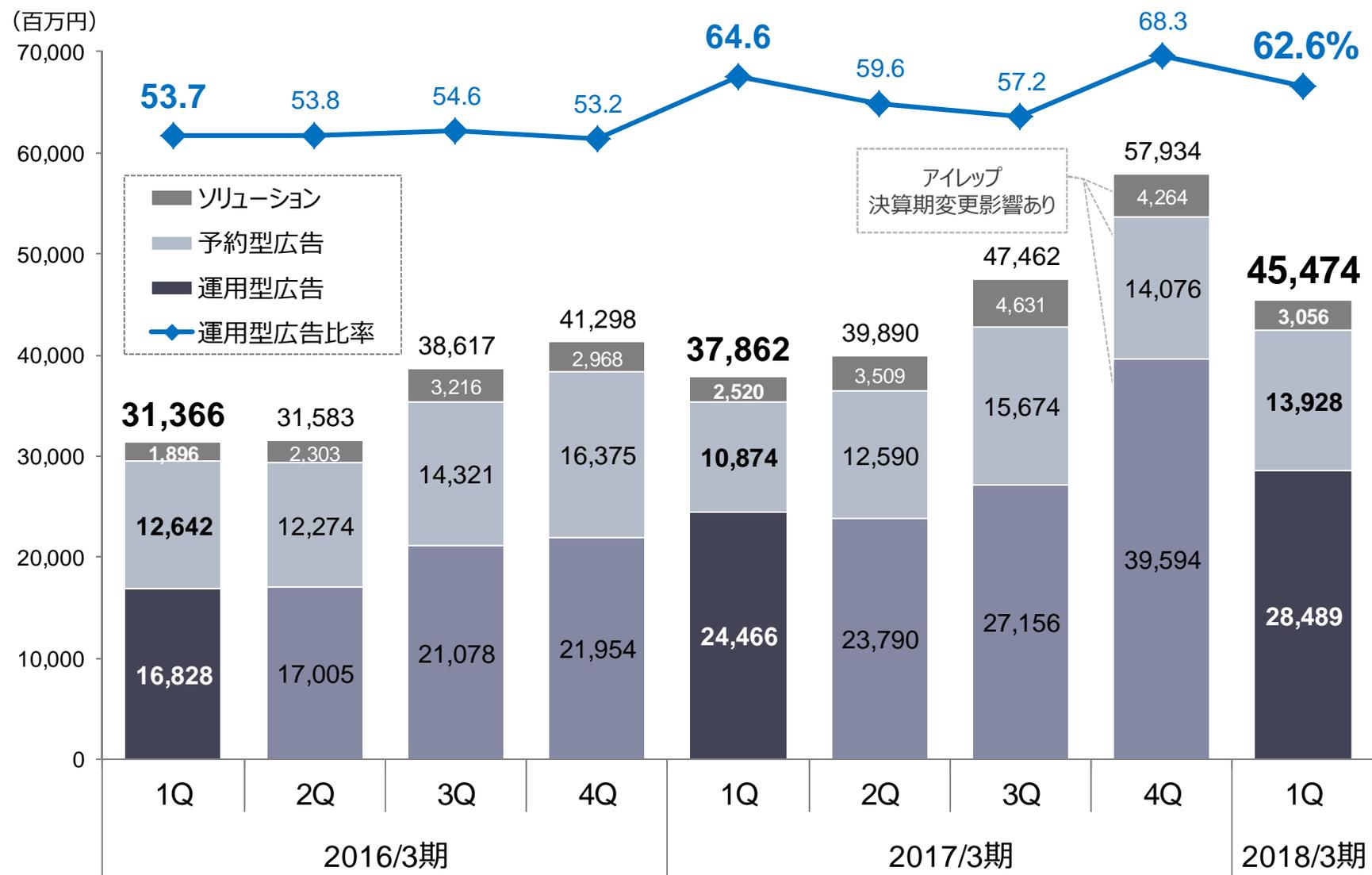
【補足】旧アイレップの取扱い額推移

- 旧アイレップの広告取扱い額は前年同月期間比133%で成長
- サーチ広告に加え、ソーシャルメディアなどのディスプレイ広告も拡大

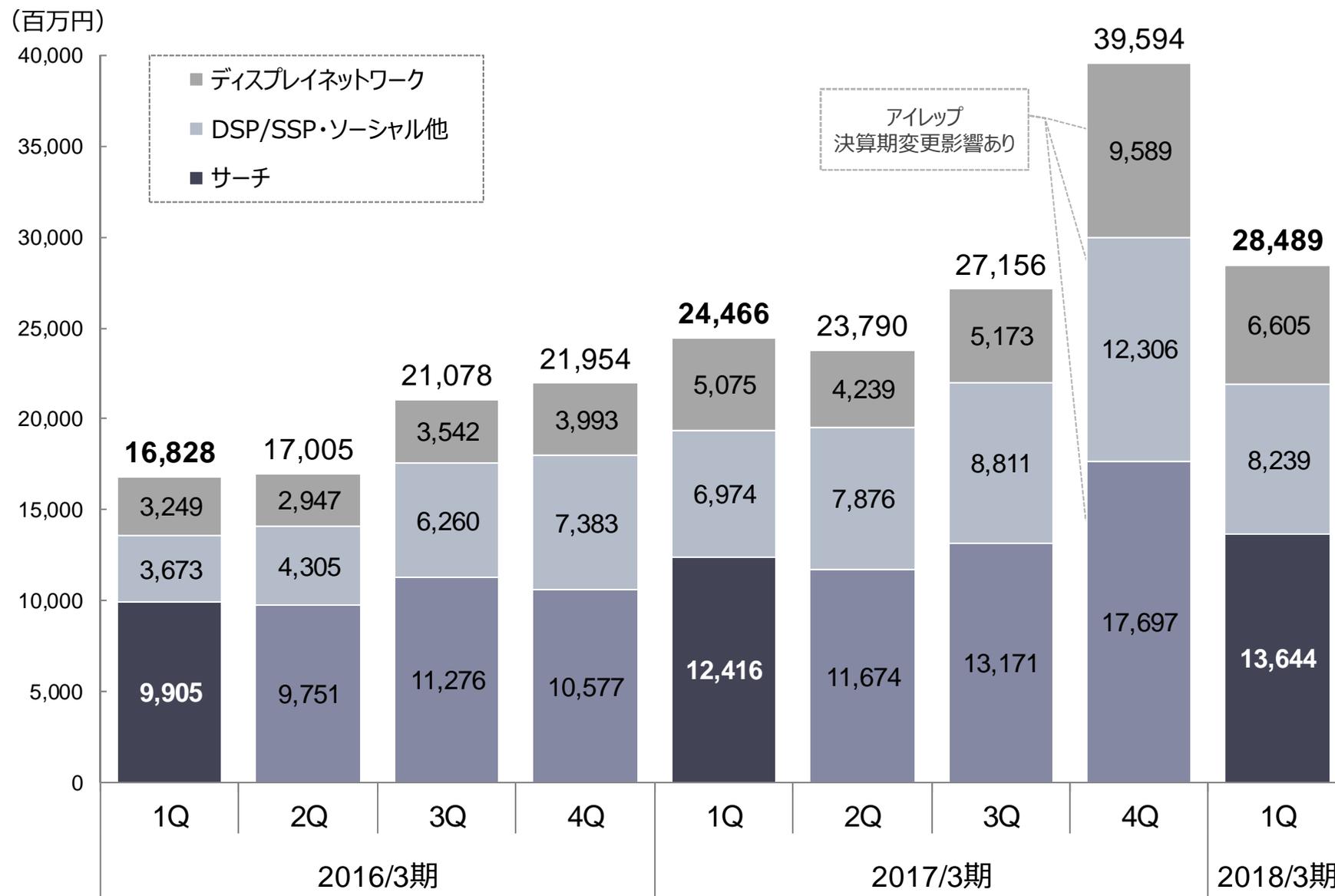




※ 2018年3月期より、売上高比率は「インターネット関連事業」実績に対する比率とし、過去分も遡及して修正しております。

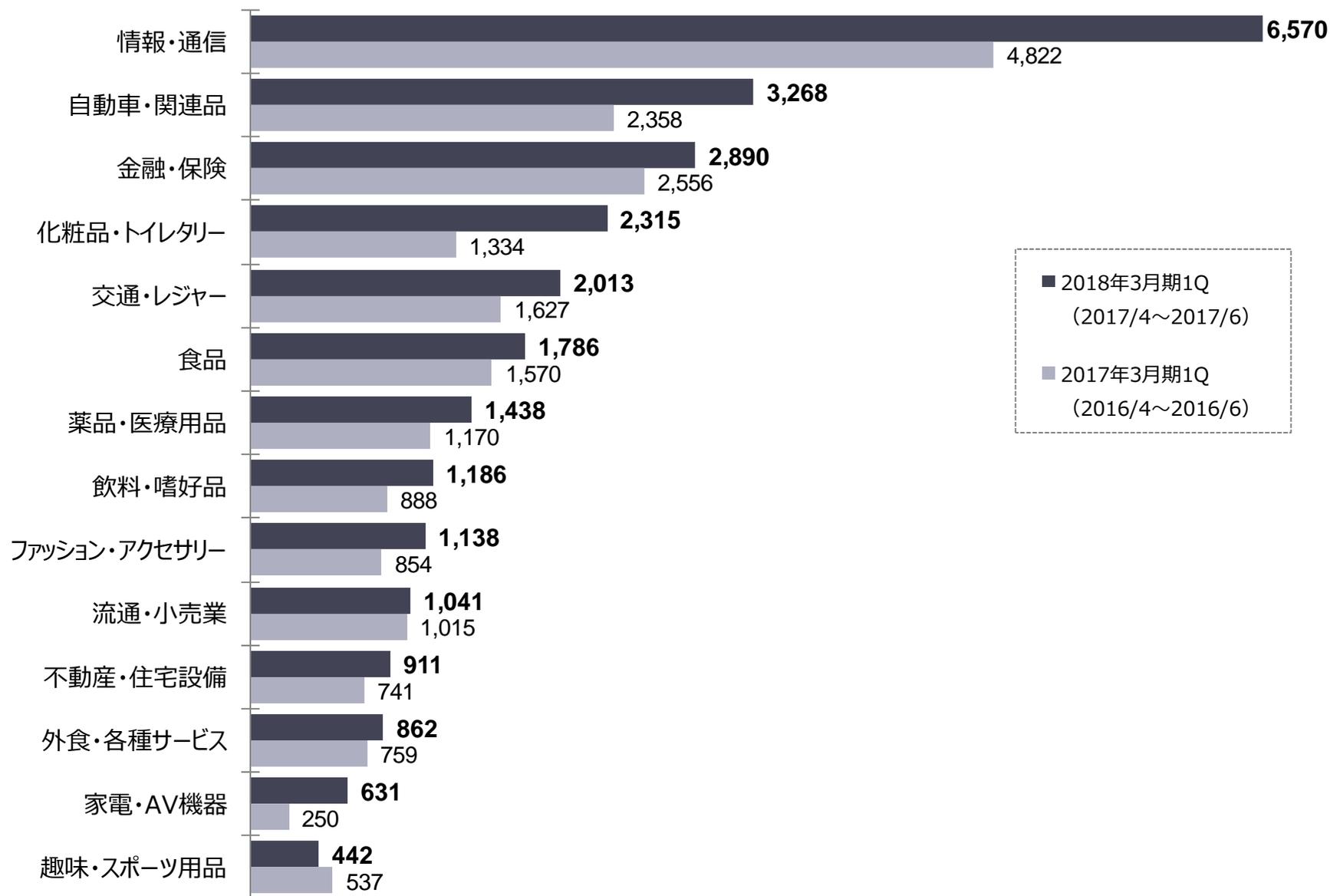


※ 2018年3月期より、運用型広告比率は「インターネット関連事業」実績に対する比率とし、過去分も遡及して修正しております。
 ※ 2017年3月期まで「運用型広告」に区分していた「DMP」実績は、2018年3月期より「ソリューション」に区分し、過去分も遡及して修正しております。

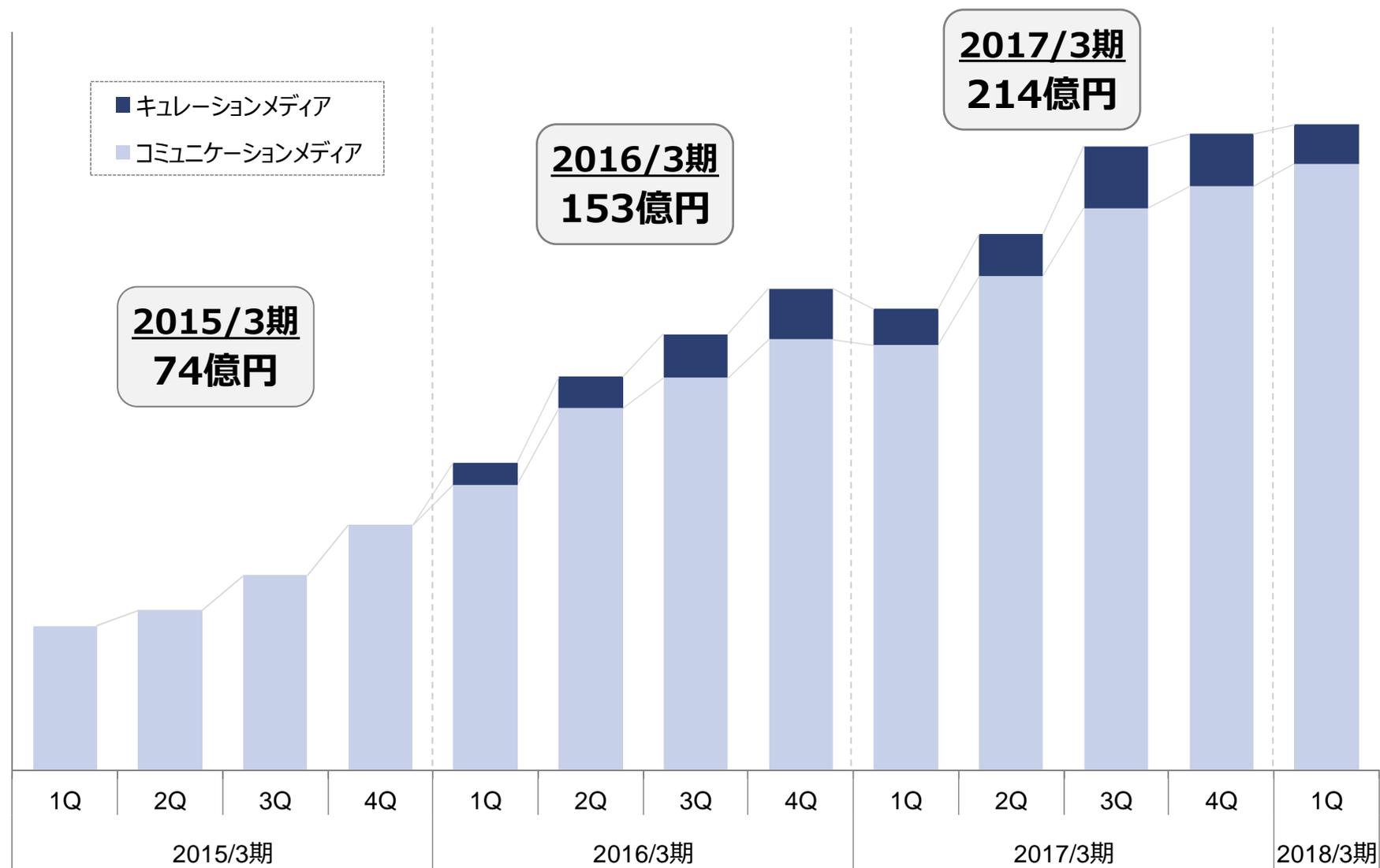


※ 2017年3月期まで「運用型広告」に区分していた「DMP」実績は、2018年3月期より「ソリューション」に区分し、過去分も遡及して修正しております。

(百万円)



※ 2018年3月期より集計範囲および集計区分を変更し、2017年3月期実績は遡及して再集計しております。

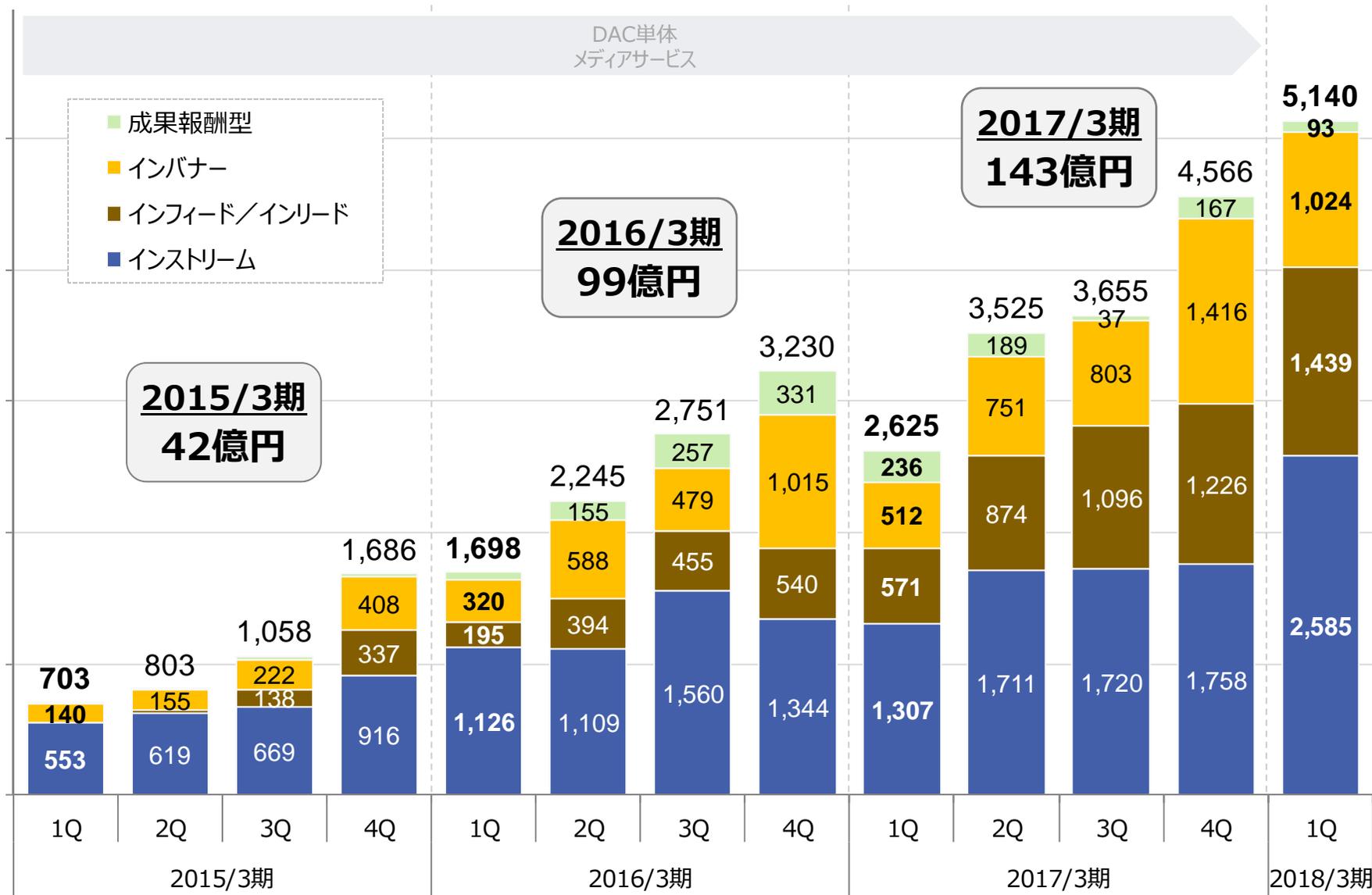


※ 2018年3月期より、集計範囲を「パートナービジネス メディアサービス」に変更しております。（2017年3月期以前はDAC単体で集計）

パートナービジネス

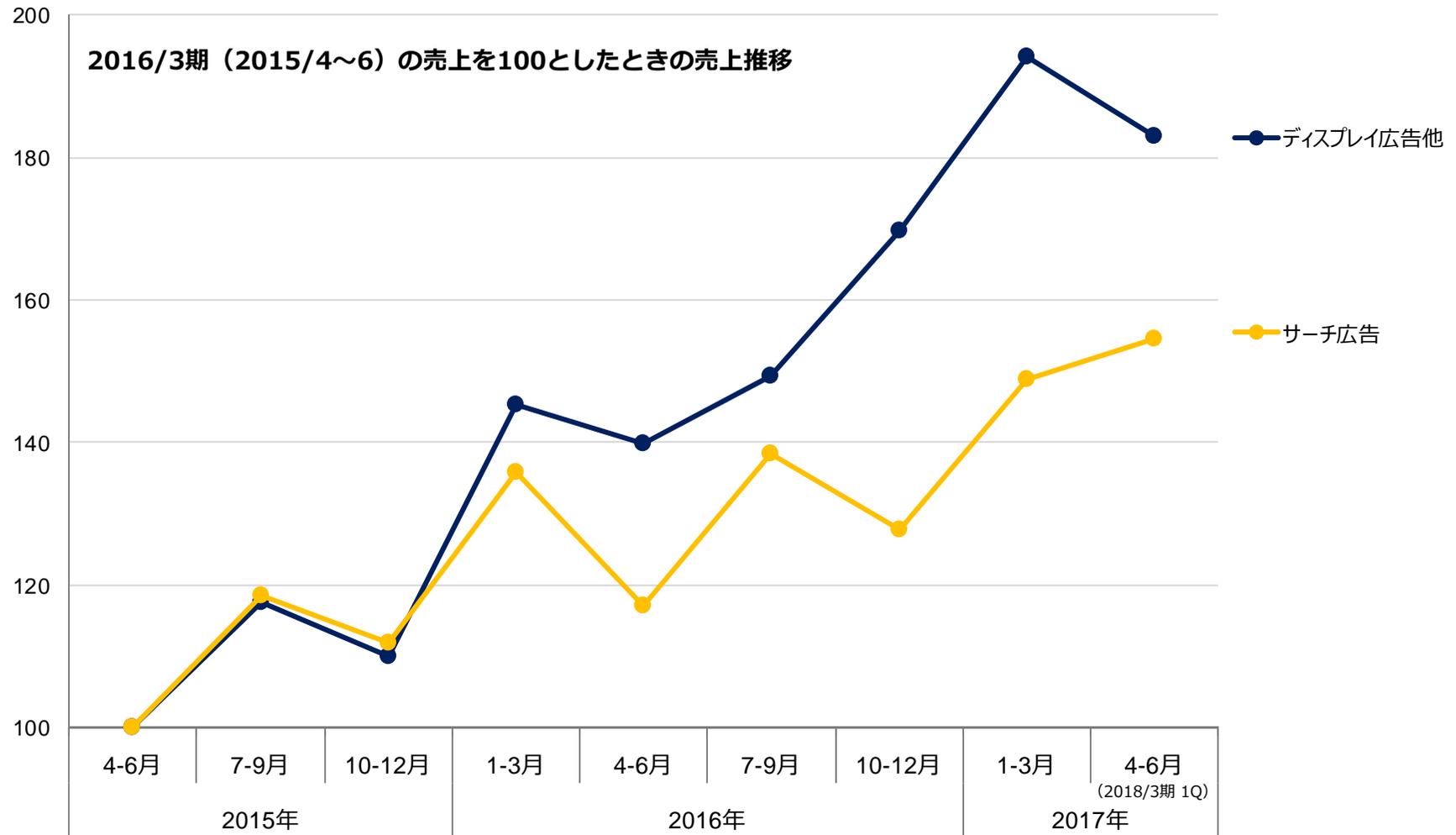
動画広告売上高推移（メディアサービス）

(百万円)

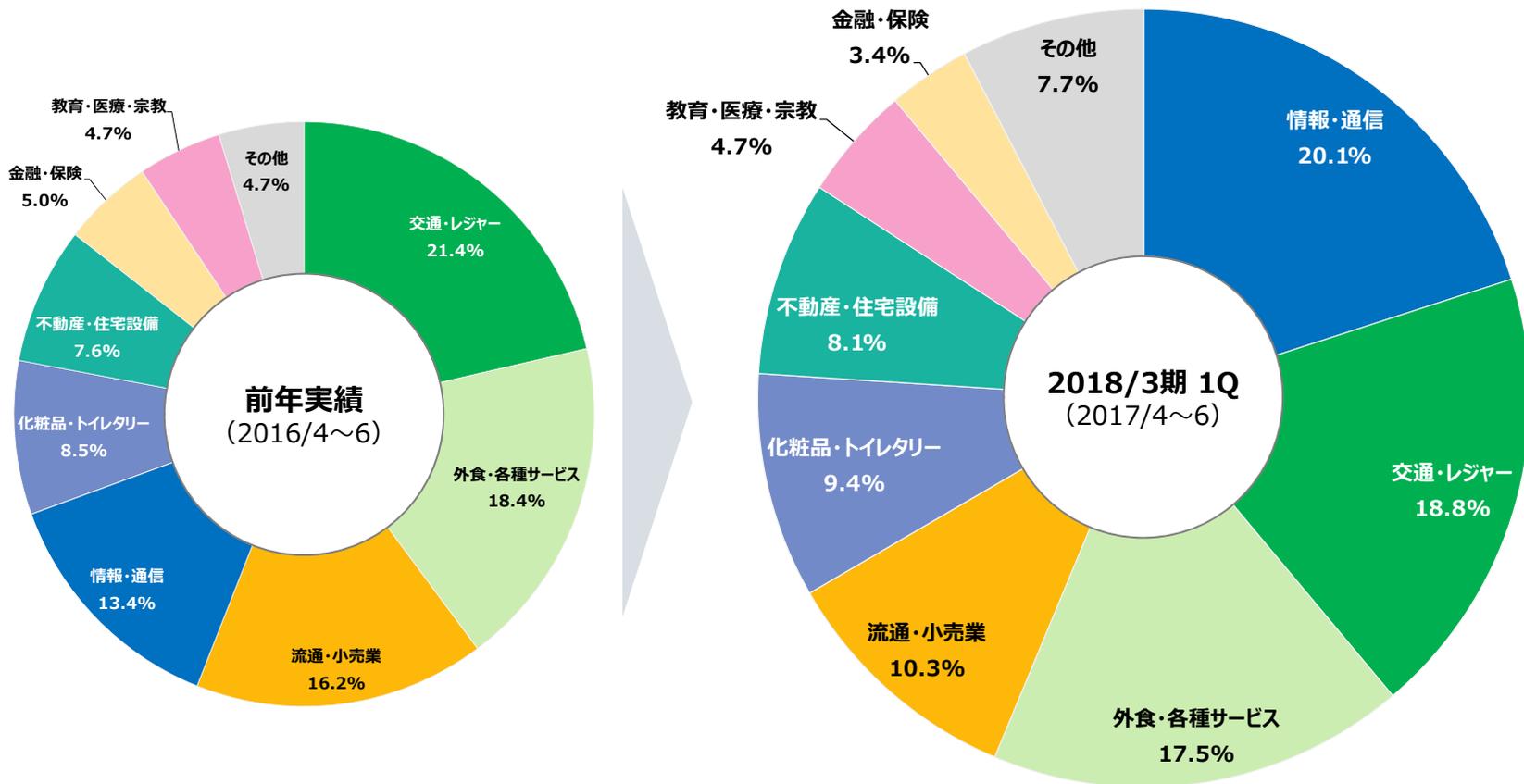


※ 2018年3月期より、集計範囲を「パートナービジネス メディアサービス」に変更しております。（2017年3月期以前はDAC単体で集計）

- サーチ広告は市場の成長以上の伸びを維持
- ディスプレイ広告は前年度より取り組みを強化し、順調に成長



- 情報・通信、交通・レジャー、人材サービス（外食・各種サービス）を中心に、特定業種への偏りが少ない顧客基盤
- ディ스플레이広告強化により、スマホゲーム系（情報・通信）の取り扱いが増加



今期方針／1Qの取り組み

1 効率化によるシナジー効果

- ✓ 事務所の再構成やオフィス統合、システム代替による効率化の実現
- ✓ ニアショア・オフショアを活用したローコストオペレーションの徹底

2 既存領域の競争力強化

- ✓ 運用体制およびソリューションサービス体制の集約・最適化
- ✓ アイレップは、クライアント向き合いのエージェンシー事業に特化し、収益向上を狙う
- ✓ グローバルプラットフォームへの対応を強化し、サービス・プロダクトの充実による顧客対応力強化

3 成長分野への投資

- ✓ 優良データホルダーとの連携強化など、データ利活用の更なる促進
- ✓ コンテンツマーケティングに関する取り組みの推進
- ✓ グループ一体となったグローバル対応チームでのビジネス拡大

2018年3月期1Qの取り組み | 効率化によるシナジー効果

1 効率化によるシナジー効果

- DAC・アイレップの2拠点間における、機能配置の再編完了
- 業務基幹システム統合・刷新に向けた取り組みの検討開始
- 高知市やベトナムなど、ニアショア・オフショア活用の推進

ニアショア

広告運用に特化したオペレーションセンター
クオリティマネジメントセンター高知

運用型広告クリエイティブ制作拠点
アイクリエイティブデベロップメントセンター高知

広告運用設計の最適化、
良質・大量のクリエイティブ配信を可能にし、
広告主のマーケティング成果を最大化

オフショア



D.A.C Tech Vietnam

DAC Tech Vietnam JOINT STOCK COMPANY

<会社概要> 代表者 : 代表取締役 寺本 司
所在地 : ベトナム ダナン
設立 : 2014年5月
従業員数 : 38名

エンジニアの計画的育成を推進し、
開発業務の効率化やエンジニアリソースの
安定的確保等、開発体制を強化

2018年3月期1Qの取り組み | 既存領域の競争力強化

2 既存領域の競争力強化

TD機能強化

- トレーディングデスク機能を集約し、あらゆる運用型広告を運用できる**国内最大規模**の体制を構築

人員配置最適化

- アイレップの事業強化に向けたDACとの人材交流や、DAC・アイレップが一体となった**グローバルチーム**を組成するなど、人材交流を実施

サービス開発

- DACの**LINEビジネスコネク**ト対応ソリューション「DialogOne®」、**LINE Beacon**を活用した自動販売機ポイントプログラムを麒麟に提供開始
- アイレップ、DAC子会社トーチライトの「sherpa」とのシステム連携により、**国内初 Facebookキャンバス**広告を動的に生成する「**ダイナミックキャンバス**」を提供

P.31
で詳しく

P.31
で詳しく

3 成長分野への投資

データドリブン

- DACのDMP「AudienceOne®」と(株)ランドスケープの日本最大の企業データベースが連携

P.32
で詳しく

- 音声信号処理技術開発のエヴィクサー(株)と資本業務提携

P.32
で詳しく

コンテンツ マーケティング

- デジタルブランディングに特化した「ブランドマーケティング本部」設立
- 朝日新聞社×集英社×DACで、企業のコンテンツマーケティングを支援する「TJ BRAND STUDIO」サービス提供開始

- WEBメディアを運営する(株)TABI LABOと資本業務提携

P.33
で詳しく

グローバル

- NTTドコモのインバウンド向けプリペイドSIMサービスで協業し、外国人ユーザーに対するインバウンド向け商品訴求が可能に

P.33
で詳しく

- タイのプレミアム媒体アライアンス「OPPA」の独占戦略パートナーとして提携

トピックス

2018年3月期1Q トピックス | 既存領域の競争力強化

- LINE Beaconを活用した自動販売機ポイントプログラムをキリンに提供



DialogOne®を活用することで、ユーザーの購買履歴を可視化し、商品開発への活用、LINE上でのユーザーごとのキャンペーンや特典の案内が可能に

- Facebookキャンバス広告を動的に生成する「ダイナミックキャンバス」を提供

Facebookキャンバス広告

スマホでフルスクリーン表示されるなど、リッチなフォーマットと高いデザイン性が強み

しかし…

制作期間・コストなどのハードルが高く、ユーザーの興味関心に合わせた動的な配信が困難

ダイナミックキャンバス

国内初

人の手をかけずに、バナー広告の商品に関連する商品をキャンバス内に動的表示する機能



旅行・人材・EC事業など商品数が多い広告主はリッチなデザイン&より高い広告効果が狙える

2018年3月期1Q トピックス | 成長分野への投資①

- DMP「AudienceOne®」と(株)ランドスケイプの日本最大の企業データベースが連携



ユーザの所属する企業属性を加えた新たなセグメントデータを構築し、より適切なターゲティングアプローチが可能に

- 音声信号処理技術開発のエヴィクサー(株)と資本業務提携



エヴィクサー株式会社

音の信号処理に基づくソフトウェアの研究開発を行う。
あらゆるメディアとスマートデバイスがリアルタイムで連動するマーケティングの実現をサポート

<会社概要> 代表者 : 代表取締役 瀧川 淳
本 社 : 東京都中央区
設 立 : 2004年3月

接触者データを活用したサービス開発や顧客データと掛け合わせた分析が可能になり、メディア接触データによる新たな収益の創出が実現

2018年3月期1Q トピックス | 成長分野への投資②

● (株)TABI LABO と資本業務提携

株式会社TABI LABO

海外のトピックを中心とした、新しい価値観やライフスタイルに出会うような体験を提供するWEBメディア「TABI LABO」を運営

<会社概要> 代表者 : 代表取締役 久志 尚太郎
本 社 : 東京都渋谷区
設 立 : 2014年5月

コンテンツ制作からメディアプランニング、配信までを一括して行うTABI LABO社と共に、
ブランドセーフで高品質なコンテンツ及びブランド広告を提供



● NTTドコモのインバウンド向けプリペイドSIMサービスで協業



訪日前や訪日中の外国人ユーザーに対して、インバウンド向け商品の訴求が可能に

D.A.Consortium

holdings

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社（証券コード：6534）

2018年3月期第1四半期 決算説明会

2017年8月3日

▼ D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社 コーポレートサイト

<https://www.dac-holdings.co.jp/>

▼ IRニュースメール配信登録はこちら

<https://www.dac-holdings.co.jp/irmail>

ご参考

D.A.コンソーシアムホールディングス会社概要

商号	D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社 英文社名：D.A.Consortium Holdings Inc.
設立	2016年10月3日
資本金	4,000百万円
所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
上場市場	東京証券取引所第二部（証券コード：6534）
発行済株式総数	71,481,422株
役職員数	2,715名（連結）
事業内容	インターネット広告ビジネスを運営する子会社等の経営管理およびこれらに附帯又は関連する一切の事業

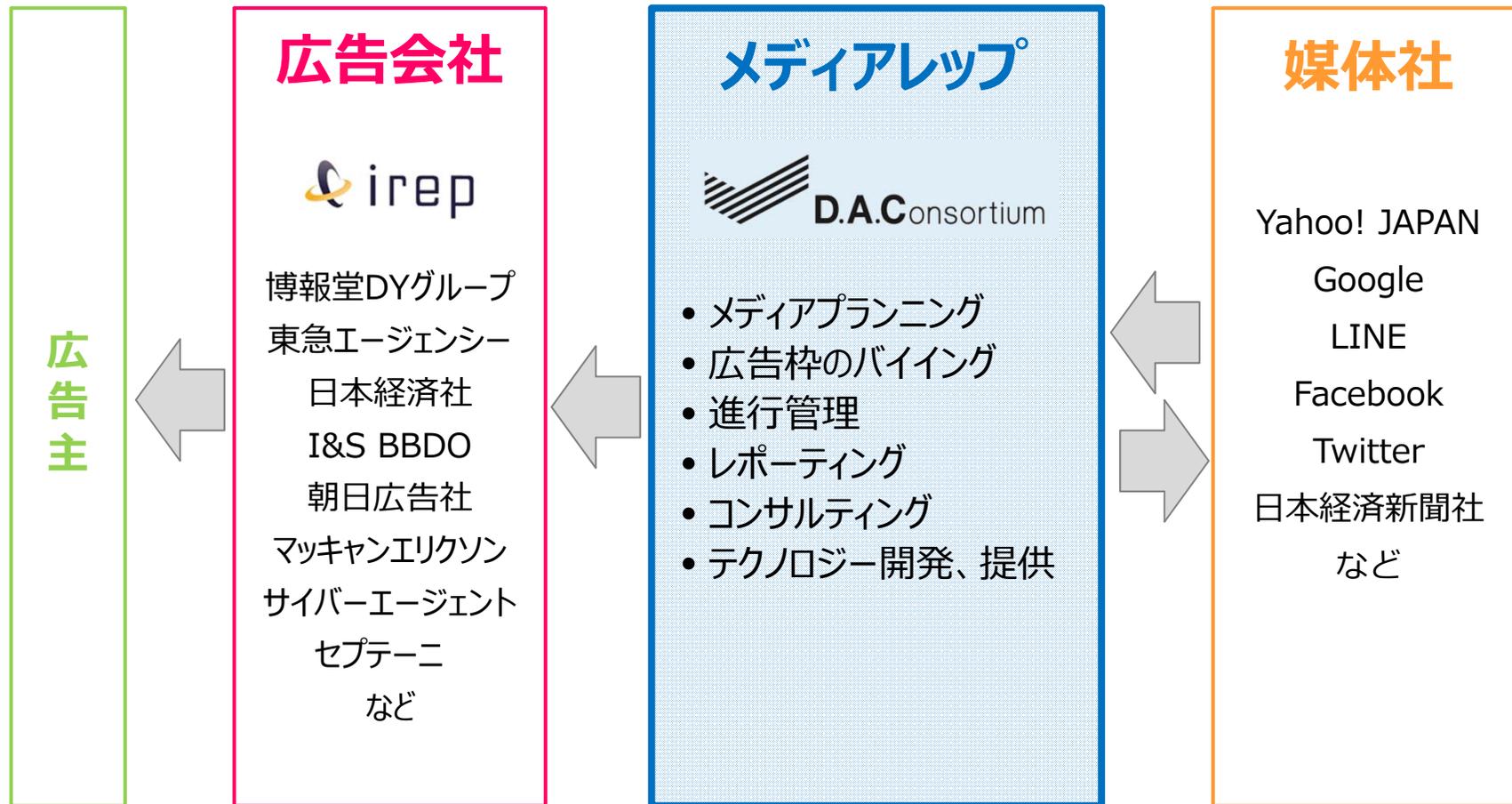
DACグループ | 主要連結子会社

社名	議決権 比率 (間接保有含む)	事業内容
 UNITED ユナイテッド(株) <small>東証マザーズ</small>	44.4%	アドテクノロジー事業、スマホコンテンツ事業、ベンチャーキャピタル事業
 HAKUHODO i-studio (株)博報堂アイ・スタジオ	60.0%	インターネット広告領域全般における企画制作、システム開発、CRM事業
 PLATFORM ONE (株)プラットフォーム・ワン	100.0%	インターネット広告取引のプラットフォームサービスの提供
 ADPRO (株)アド・プロ	65.8%	広告取引におけるスケジュール管理、送稿、掲載確認などの 進行管理業務の提供
 TORCHLIGHT (株)トーチャイト	70.0%	オウンドメディアと広告を中心としたソーシャルメディア活用支援サービスの提供
 D.A.C Beijing 北京迪愛慈广告有限公司	51.1%	中国におけるインターネット広告事業
台湾DAC 台湾迪愛思股份有限公司	100.0%	台湾におけるインターネット広告事業
 D.A.C Asia DAC ASIA PTE. LTD.	51.0%	東南アジア地域における、インターネット広告の戦略立案、事業開発、 市場リサーチ、グループ各社のアジア進出の支援
 i-dac I-DAC PTE. LTD.	85.0%	東南アジア地域における、統合デジタルマーケティングソリューションなどの提供
 D.A.C Tech Vietnam DAC Tech Vietnam	60.9%	デジタルマーケティング領域における高い開発技術を用いたソフトウェア開発
 yengage Yengage Corporation	100.0%	米国におけるインターネット広告事業

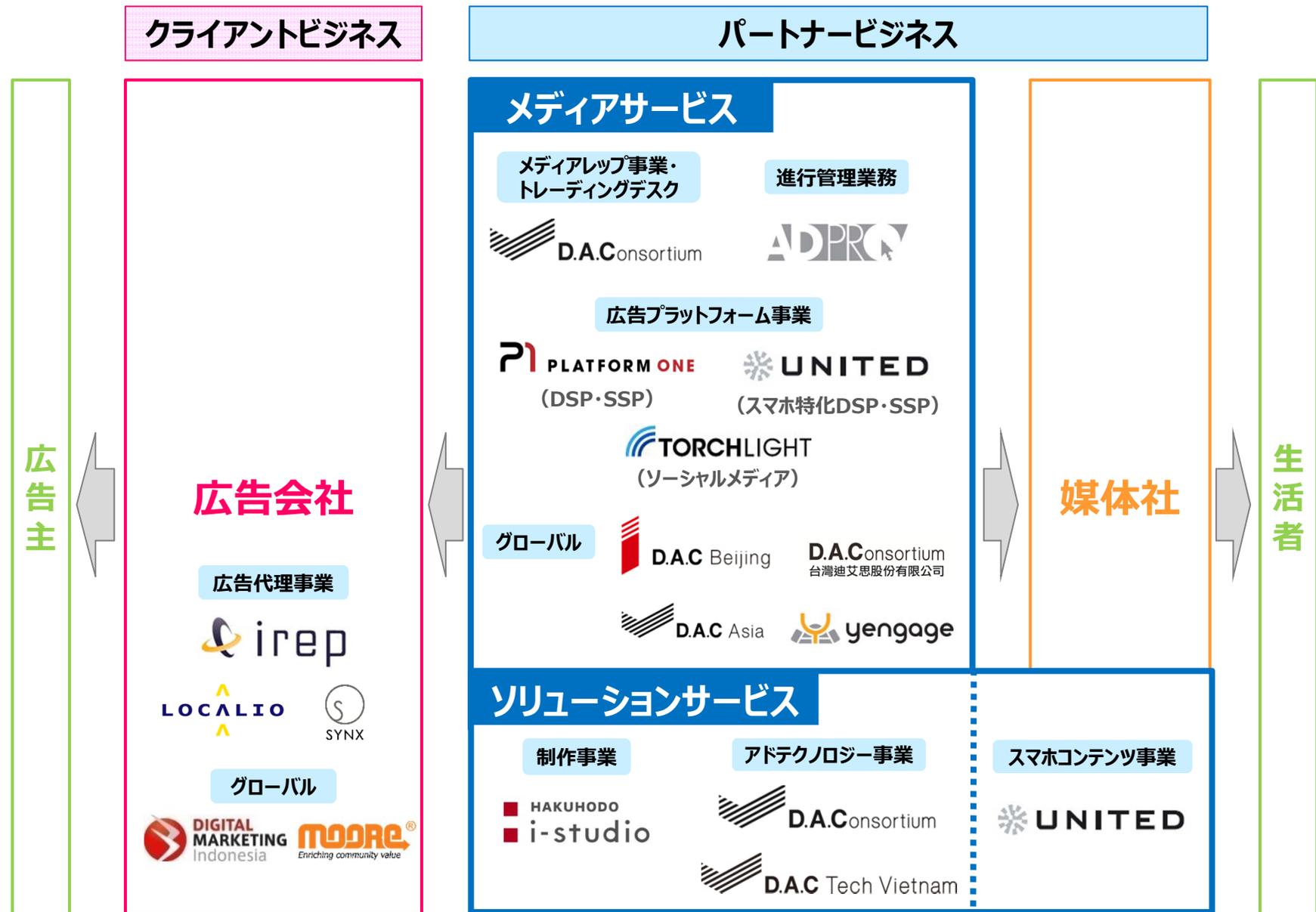
アイレップグループ | 主要連結子会社

社名	議決権 比率 (間接保有含む)	事業内容
 (株)ロカリオ	100.0%	中堅・中小及び地方企業向けデジタルマーケティングサービス
 (株)シンクス	51.0%	運用型広告事業
 (株)NEWSY	91.2%	ニュース配信サイト「しらべえ」運営事業
 PT.DIGITAL MARKETING INDONESIA	85.0%	インドネシアにおける運用型広告事業
 北京艾睿普广告有限公司 IREP BEIJING CO.,LTD	100.0%	中国における運用型広告事業
 MOORE ONLINE DEVELOPMENT SOLUTIONS CORPORATION	53.2%	ベトナムにおける運用型広告事業

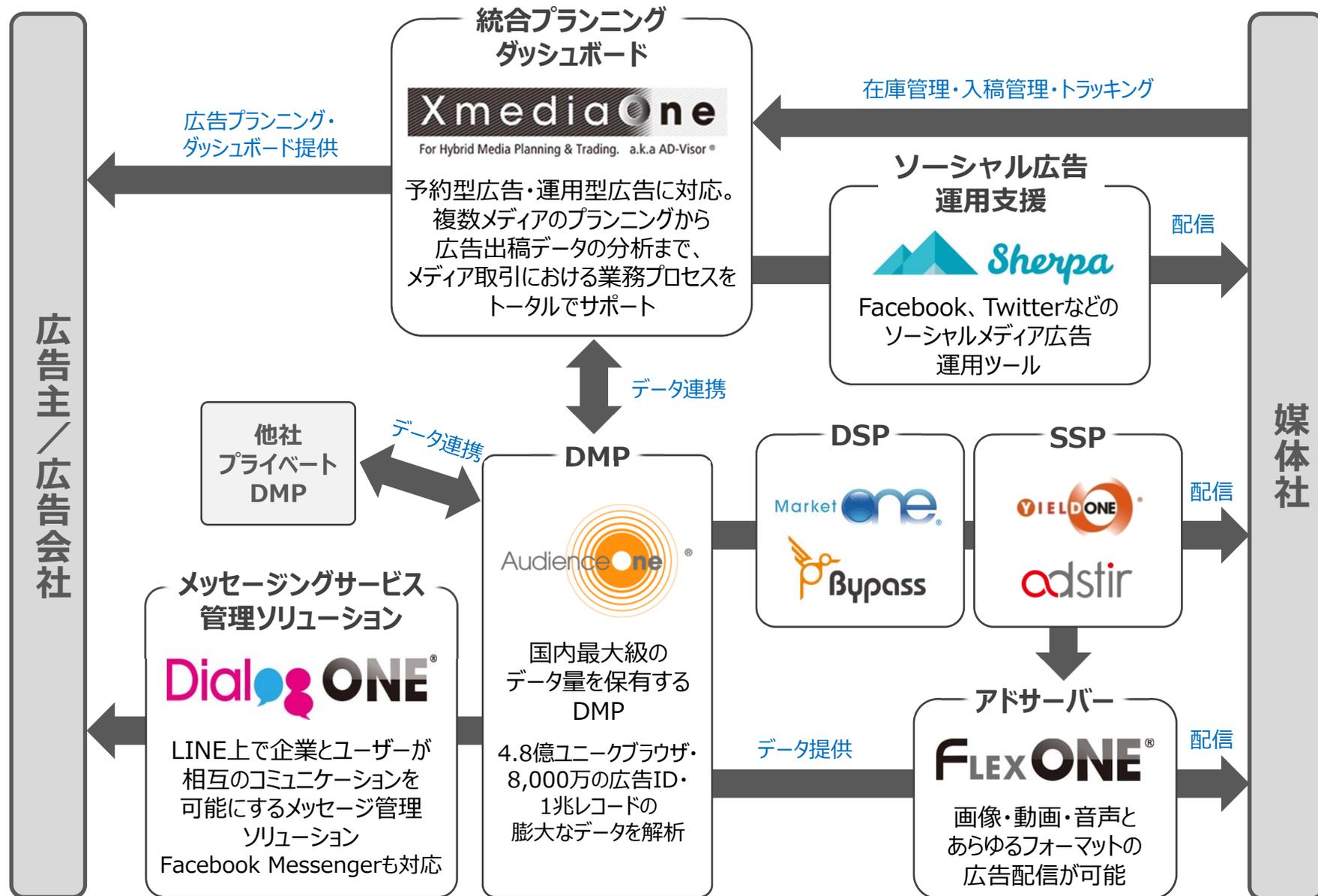
インターネット広告の流れ



インターネット関連広告事業のビジネスマップ



DACHDグループの主なアドテクノロジーラインナップ



本資料のご利用にあたって

本資料は、D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社の事業及び業界動向についてのD.A.コンソーシアムホールディングス株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2017年8月3日現在において利用可能な情報に基づいて、D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社により2017年8月3日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

また、事業に関する詳細の数値につきましては、当社独自の分類・区分により算出した社内管理上の数値であり監査法人の監査・レビューを受けておりません。